

シリーズワークショップ “イロハすてっぷ”

ガラスクラフトすてっぷ

7月31日（土）、今年度最初の自主イベントを開催しました。今年度からスタートした新シリーズ“イロハすてっぷ”は、「「やってみたい」の一歩先へ」をコンセプトに、一つのジャンルのワークショップを毎月1回（全3回）、一歩ずつステップを上げるように入門編の中でも少しずつ難易度の違う作品、違う技法を使った作品づくりを楽しんでもらう内容になっています。

今年の“イロハすてっぷ”は、「ガラスクラフト」。鳥取市内に手づくりガラス工房を構える石井博文さんを講師に迎え、カラフルなガラスを使って3つの技法に挑戦します。

初回の7月31日は、イタリア語で「千の花」という意味を持つミルフィオリガラスを使ってアクセサリーを作りました。ミルフィオリガラスを小さなガラス板に敷き詰めて接着し、その後、講師が工房の電気炉でフューズ加工をして、参加者それぞれの希望に合わせてチェーンネックレスや革ひもペンダント、ヘアゴムに仕上げてくださいました。

選ぶガラスの色あいや透明な部分の残し方で個性が表現され、さらに溶かす加工で仕上げることで思いもよらぬ変化が生まれ、完成品を受け取られた参加者からは「想像以上の仕上がりで大満足♪」とのお声をいただきました。

.....



9月12日（日）、シリーズワークショップ（全3回）の2回目『テラリウムハウス』の回を開催しました。8月に予定していた、バーナーワークで作る『とんぼ玉』の回は、県内のコロナ感染急拡大の影響で10月に延期になりましたが、9月の今回は感染対策をしながら無事に開催することができました。

今回は、スタンドグラスの技法を使って家型のテラリウムのケースを作りましたが、慣れないハンダ付けにみなさん悪戦苦闘。それでもただの四角い板ガラスだった素材に色ガラスで飾りをつけ、ハンダで繋げて家型に成型し、仕上げにハンダ部分に薬品を塗って銅色や黒色に染めてオシャレなテラリウムハウスが完成しました。

テラリウムとはガラス容器の中で苔や植物を育てる最近人気の園芸ですが、可愛らしく出来上がったテラリウムハウスを見て、みなさん「多肉植物を入れようか。それとも小物を入れて飾ろうか。」と想像を膨らませていました。

.....

10月31日（日）、シリーズワークショップ（全3回）の3回目『とんぼ玉』の回を開催しました。（本来は8月の予定でしたが、県内のコロナ感染急拡大により10月に延期となりました。）

バーナーでガラス棒を溶かしながら金属棒に巻き付け、丸い玉に仕上げている作業に、みなさん四苦八苦されていました。ガラスの色の組み合わせにみなさんそれぞれの個性が出ていて、どれもステキでした♪

全3回全てに参加してくださった方もおられ、様々な技法で「ガラスクラフト」を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

コロナ禍ではありましたが、講師・スタッフはもちろん、参加者のみなさんにも様々な感染防止対策にご協力いただいて無事、実施することができました。ありがとうございました！！

